2023年1月11日
日刊建設工業新聞
（大阪・兵庫・京都・滋賀・和歌山・奈良会場）

総合資格学院

一層の活躍を期待

関西地区で合格祝賀式典

総合資格学院（岸和子学院長）は9日、関西地区の2022年度合格祝賀式典を開いた。メイン会場となった大阪地区は、大阪市北区の大阪新阪急ホテルで1級建築士と2級建築士、宅建士の合格者ら約200人を集めて開催した＝**写真**。

式典の冒頭、佐態孝浩関西本部長は「合格おめでとう。昨年12月に合格発表があり、おめでたい年明けを迎えられたと思う。祝賀会も開くことができ、感慨深い。私たちは一人でも多くの合格者を出すため取り組む。学科試験合格年に製図試験も合格するストレート合格率8割実現に役立ちたい。一層の活躍を期待する」と語った。

令和４年度
総合資格学院 修了式・合格祝賀会

来賓あいさつとして岡本森廣大阪府建築士会会長は「社会が変わる時に、私たちは力を発揮する。さらにスキルアップとキャリアアップをして、社会に役立つよう頑張ってほしい」、樋上雅博大阪府建築士事務所協会会長は「素晴らしい日本・世界の建築のために、より力を発揮されることを祈念する」と述べた。松尾和生日本建築家協会（JIA）近畿支部長は「情熱を持って、日本の歴史・文化を継承し、より良い建築をつくってほしい」、指田孝太郎日本建築協会会長は「建築は一人でつくれない。自己研さんすることと、人との交流を通じ異なる視点を学ぶことは非常に大切だ」と激励した。

芝井敬司関西大学理事長は「日本国際博覧会が25年に大阪で開かれる。『いのち輝く未来社会のデザイン』がテーマで、会場で成果を見てほしい。生きるための大きな力になると思う」、岩前篤近畿大学副学長は「資格を取得したので、少し自分の思いをぶつけることに挑戦してほしい」と語った。

建築士合格者を代表し、梅田校の熊谷ちさと氏（1級建築士）と東谷浩輔氏（2級建築士）があいさつ。合格の喜びと講師・職員への謝意を表した。

兵庫地区の式典は神戸市中央区の神戸三宮東急REIホテル、京都地区と滋賀地区は京都市下京区のからすま京都ホテル、奈良地区は奈良市のホテルアジール奈良、和歌山地区は和歌山市の和歌山アーバンホテルで開き、合格を勝ち取った受講生を祝った。

型（施工計画10点＋施工体制能力等40点）で施工体制認型（30点）の総合評価式。賃上げ実施企業に対しては総合評価で加点（3する。契約後VE、入ボンドを適用する。

改修設計2件

体または2者以上のJ文部科学省の2021 22年度設計・コンサルテング業務「建築関係設計施工管理業務」の有資格で、滋賀県、京都府、大府、兵庫県、奈良県、和山県に本店、支店、営業があることや、07年度以に「RC、SRC、S造べ面積2000平方㍍以の建築物」または「RC、RC、S造の建築物」の営もしくは内装改修で建実施設計の元請実績があことなど。業務は付属図館（RC造3階建て延べ893平方㍍）の室内用

途変更に伴う内（改修面積25㍍）の実施設計。市左京区松ケ崎履行期限3月31日▽京都工芸繊維ケ崎）付属図書館（設備）設計業務＝参単体また

図書館（RC造3べ4893平方㍍用途変更に伴う内（改修面積25㍍）の実施設計。行期限は同。

吉村さんが提案した住戸

数がベンチに座れ族や友人とのコミュニョンの場になる。ぬくもりを感じる部屋で楽しいひとときを過ごしてほしい」と話していた。

吉村さんは「こだわりの住まいをつくる手助けができる空間を目指した」と語った。プロジェクトを指導する同大学の井上えり子教授は「新しい選択肢を提供

長、橋本光夫大阪安全衛生協力会会長、郷右近英弘取締役執行役員副社長大阪本店長が神前に玉串をささげ、工事の安全を願った。

賀詞交換会で村尾社長は「安全はすべてに優先するという基本理念を本日、改めて確認し、一丸となり労働災害撲滅を誓おう。当社は独自のDXの完成を目指して取り組んでいる。現場に関係するところで4月か

賀詞交歓会

夢と誇りと使命感を

建コン協近畿

建設コンサルタンツ協会（建コン協）近畿支部（吉津洋一支部長）は6日、大阪市中央区のシティプラザ大阪で新年賀詞交換会を開いた。来賓や支部会員ら約若い人が夢と誇りと使命感を持って進めてほしい」と話した＝**写真**。

渡辺学近畿地方整備局長は「補正予算の早期執行に尽力し、2023年度の当初予算や国土強靱化の予算獲得に全力を尽くす」と来賓あいさつした。地盤工学会関西支部の東川直正支部長は「万博を契機にわが国、そして関西を変えたい。そのために知恵が大切である」と述べ、建設コンサルタントの活躍を期待した。

続いて、建コン協近畿支部の大西有三顧問の音頭で乾杯し、和やかに歓談した。

魅力アップにまい進

滋賀建産連

フラ整備・維持管理や災害発生時の対応など、多くの役割を担う建設産業の第一

に、自動運転の実用化などモビリティ社会の変革へのーのさらなる推進などに取り組んでいます。

より多くの方にご利用いただくさまざまな取り組みを力を賜りますようお願い申し上げます。